

社会福祉法人 上溝緑寿会

令和2年度事業計画

～目次～

法人全体の方針	…	2
ずっと我が家 上溝本町 [上溝 6-2-22]		
ショートステイ	…	6
デイサービス	…	8
ホームヘルプサービス	…	10
秋桜 [上溝 3172-1]		
グループホーム秋桜	…	12
デイサービス秋桜	…	14
星が丘 [星が丘 4-9-14(デイ)、3-6-21(包括)]		
星が丘デイサービスセンター	…	18
星が丘地域包括支援センター	…	20
上溝 [上溝 7-16-13]		
上溝地域包括支援センター	…	22
コスモスセンター [上溝 5423-5]		
居宅介護支援事業	…	24
コスモスホーム	…	26
コスモスハウス	…	28
栄養調理部門	…	30
総務事務部門	…	32

法人理念・ビジョン～私たちはめざしています～

人生は、いつでもあなたが主役です

～1日24時間、1年365日、住み慣れたところで、その人らしく生活することを

コスモスセンターはお手伝いします～

この目標を実現するために、私たちは次のメッセージをお送りします。

ご利用者様、介護するご家族様に

私たちは、「介護が必要な状態になっても、できるだけ自分の生活を自分で決め、豊かに安心して生活していく」ことを援助したいと考えています。

そして、そのことをすべての職員が目標にしています。

そのために、

ご利用者様が「大切にしていること、したいこと」「今までこだわってきたこと」をどうぞご遠慮なくお伝えください。

「苦しいこと、辛いこと、困っていること」をどうぞお聞かせください。

全てにはお応え出来ないかもしれませんが、一つひとつの「想い」を大切に、できるだけお応えできるよう、私たちは努力してまいります。

一緒に働く・働こうとする仲間に

介護、相談、医療など各分野で援助に関わる専門職として、「チームでご利用者様とご家族を支える、1+1が3にも4にもなる、この実感を仕事の醍醐味とする」ことを目指します。

そのために、

「とことんコミュニケーションできる」「伝えようとする、伝えている」

「聴こうとする、解ろうとする」「何でも腹をわって話せる」「先を見ようとする、見える」仲間を求めています。

そして、みんなで、目標の実現に向けて一步一步、歩んでいきたいと思えます。

地域に

地域の皆さまが気楽に集える、交流できる、そして「いろいろな何か」が得られる場を、地域の皆さまとともにつくっていくことを目指します。

そのために、

私たちは地域の皆さまといろいろな場面でどんどん関わっていきたくと思っています。地域の皆さまもどうぞお気軽にお立ち寄りください、お声かけください。「介護の相談がなければ…」ということはありません。

小さな交流の種を「地域の皆さまとともに」たくさん育てていきたいと思えます。

※上溝緑寿会ホームページ(<http://www.cosmos-c.or.jp/>)の「法人理念・ビジョン」に掲載中

法人全体の方針

1. はじめに～令和2年度事業計画立案にあたり～

令和元年度の事業計画は、「人材を確保、育成、定着する仕組みと目標とする収益を確実に実現する仕組みをつくり、稼働させる」ことを重点目標としました。

「人材育成と定着」については、「あしたの『ひと』づくり」プロジェクトに取り組み、「階層ごとの職員の目標とすべき行動」と「専門職として目標とする知識と技術」について「キャリアマップⅠとⅡ」としてまとめました。また、職員の専門職としての成長を各セクションが責任を持って取り組む育成の仕組みをつくりました。年度下半期はこれらの仕組みについて、リーダー以上の職員で検討し共有しました。

人材確保については、職種を問わず厳しい状況が続きました。特に介護職と看護職については、派遣職員の利用を続けざるを得ませんでした。

このような状況を受け、令和2年度についても「人材確保・育成」と「収益確保」を事業計画の重点目標とします。特に事業開始25周年となる令和3年4月に向けて、法人運営の中核を担う人材の育成を進めます。

また、団塊の世代が75歳に到達する2025(令和7年)に向け、計画作成にあたって全セクションが3年後の令和5[2023]年4月時点の「将来に向けたビジョン」を想定し、実践を進めることとしました。

2. 地域との連携と法人運営

本年度も引き続き、社会福祉法に改正内容の施行に対応し、「評議員会・理事会の開催」、「さらなる事業運営の透明性の向上(経営内容の開示)」、「財務規律の強化」、「地域における公益的取組の実施」等に取り組んでまいります。

また、昨年度に引き続き、「上溝本久・コスモスセンターふれあいまつり」や「溝の朝市」、「星が丘フェスティバル」、「ぶらっと上溝での事業への協力」など、上溝及び星が丘地区社会福祉協議会をはじめとする地域のさまざまな団体と協働してまいります。

法人全体の事業計画(重点項目)

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
法人理念「人生はいつでもあなたが主役です」を地域において支える専門職人材を育成し、「住み慣れたところで暮らし、大往生できる」地域づくりに貢献する社会資源のひとつとなっている。	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
中堅職員(プロ)を中心とした専門職が、各事業の責任者(事業管理者等)のリーダーシップで、ご利用者・ご家族が満足するサービスを提供し、収益を上げ、職員と事業をさらに成長させる「事業集団」となっている。	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
職員一人ひとりが目標をもって成長し、各事業のチームメンバーとして事業の目標達成に貢献することにより、収益を確保する仕組みが稼働している。	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
(1)各事業と法人全体の収入と支出の状況を管理し、適切な収益を計画的に確保する。	①収入と支出の管理体制の再構築 事業ごとに収入と支出を翌月初旬に把握し、事業計画の進捗を管理する仕組みを再構築する(「経営管理表」の見直し)。
	②経営管理体制の見直し 各セクションが各事業の経営状況を随時、把握するとともに、拠点長以上のメンバーが法人全体の状況を把握し、事業計画の進捗管理をする仕組みをつくる。
	②情報共有の仕組みづくり 法人職員が経営や職場に関する情報を把握できる仕組みをつくる(グループウェア等)

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) 法人(職員)全体で人材確保に取り組む。</p>	<p>①リファラル採用の取組み</p> <p>リファラル採用(口コミや人的ネットワークによる人材確保)を法人全体で継続的に取り組む仕組みをつくり、新規採用者の3割程度を確保する。</p>
	<p>②学卒新規及び20代人材の採用強化</p> <p>世代交代にともなう学卒新規及び20代の人材確保のため、養成校や実習生への働きかけに加え、SNSによるPRを人材募集専門サイトなどを利用し強化する(30歳未満の職員採用目標5名)。</p>
	<p>③派遣職員の段階的削減</p> <p>実績ある派遣職員の直接雇用化等を進め、派遣職員を段階的に削減する(令和元年度比派遣職員費用30%減)</p>
<p>(3) 人材育成に各セクションが目標を持って取り組む。</p> <p>※キャリアマップ I</p> <p>職員の階層ごとに必要な具体的な行動を31項目にまとめたもの。</p> <p>※キャリアマップ II</p> <p>職種ごとにプロの専門職として身につけるべきスキル(知識と技術)のチェックシート</p>	<p>①キャリアマップ I・IIの活用</p> <p>キャリアマップ I・IIを活用し、全職員が目標をもって「専門職のプロ」を目指して取り組む。</p>
	<p>②各セクションの新採用職員育成</p> <p>令和元年度に制定した「人材育成の基本方針」により、各セクションが新採用職員育成に計画的に取り組む。</p>
	<p>③法人全体で取り組む職場研修の活性化</p> <p>各セクションで必要な研修ニーズを見極め、OJTや外部研修(Off-JT)の計画を立て、実践する。</p>

※評議員会・理事会の開催について(令和2年度)

本年度の評議員会・理事会の6月までの開催予定は以下のとおりです。開催通知については1ヶ月前までにご通知申し上げます。

令和2年5月23日(土) 理事会(事業報告・決算承認)

令和2年6月13日(土) 令和2年度定例評議員会(事業報告・決算承認)

同日

理事会(評議員会終了後)

ずっと我が家 上溝本町ショートステイ(短期入所生活介護)

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
<p>地域(家族・学生・地域住民)と我が家スタッフの交流が深まっている。地域の中で「我が家」がより身近な存在になっている。</p> <p>(家族に向けて) 介護サロンの開催 / (地域住民・学生) 公開講座の開催 など</p>	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
<p>年間実利用者350名の生活の一部となり、500世帯の暮らしを支えるパートナーとなっている。</p>	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
<p>いつでも だれでも「泊まること」ができ、選ばれるショートステイとなっている。</p> <p>[提供する事業量の目標]</p> <p>○年間稼働率 :100%</p> <p>○新規利用者 :年間130名以上</p> <p>○利用リピート率: 40%以上</p> <p>(※利用リピート率・新規利用者で3回以上利用された方の割合)</p>	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(1)職員に向けて</p> <p>成長しよう・高めよう</p> <p>⇒モチベーションを維持し、また高めていき、前向きに働ける環境・仕組みを作っていく</p>	<p>①心(やりがいのある職場づくり/外部に発信していく)</p> <p>⇒日々の取組みを振り返る機会(会議・ミーティング)を作る</p> <p>⇒取組みを外部に発信し、評価を受ける仕組みを作る</p>
	<p>②技(ケア力を高める【認知症・中重度者対応】)</p> <p>⇒外部研修を通じて、学んだことを伝達研修として伝えていく</p> <p>⇒ミニカンファレンスの開催を通じて実践の中から学んでいく</p>
	<p>③体(無理なく勤務できる勤務体系を作る)</p> <p>⇒ユニット単位に拘らず、臨機応変に勤務できるシフト体制を作る</p> <p>⇒計画的に有給 5 日を消化できるようにしていく</p>

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) 生活リハビリ実践型ショートスティとして</p> <p>⇒日中の活動量を増やしていきながら、生理的リズムを整えていく</p>	<p>①生理的リズムを改善していく(中長期利用者を中心)</p> <p>⇒食事摂取と排便リズムに着目し改善を図っていく</p> <p>⇒褥瘡や皮膚トラブルなど適切な対応により改善を図る</p>
	<p>②活動を増やしていく</p> <p>⇒外出する機会を増やしていく(我が家外含めて)</p> <p>⇒運動機会を増やしていく(歩行訓練・リハビリ体操)</p>
	<p>③意欲の活性を図っていく</p> <p>⇒個々の利用者の「興味・関心」に着目していく</p> <p>⇒その人の「できること」を実践し役割を見出していく</p>
<p>(3) サービス内容の総点検として</p> <p>⇒既存の仕事の組み立てを振り返り、無理・無駄を省き効率化を図っていく</p>	<p>①各業務内容の見直し</p> <p>⇒現行の業務内容を見直していく</p> <p>⇒見直した内容を元に、マニュアルを作成する</p>
	<p>②記録システムを活用した情報共有・発信の仕組みを整理する</p> <p>⇒記録システムの新たな使い方について学ぶ機会を作る</p> <p>⇒申し送り簿／利用報告書の書式を変更していく</p>

※記録システム

上溝緑寿会の記録システム「ブルーオーシャン(BO)システム」は、介護系の全セクションに導入されており、パソコン、タブレット、iPad を利用して、どのセクションでも同様の操作で記録することが可能です。各セクションとも介護に関する情報をこのシステムを利用して共有し、活用することに取り組んでいます。

ずっと我が家 上溝本町デイサービス(通所介護)

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
地域にとって必要と感じてもらえているデイサービスを目指す。利用者もそうでない人(地域住民・ボラ等)も分け隔てなく交流を持てている。利用者自身が地域との繋がりを感じて、(デイサービス利用時に)役割を実感できている	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
季節を感じながら外を歩くことができ、人や自然や他サービス(ショートステイ・ヘルパー)とのつながりを実感し、居場所ができるデイサービス	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
「我が家デイ」のセールスポイント(売り)を作る 「生活リハビリ実践型」デイサービスを目指す	
[提供する事業量の目標]	
○年間利用平均人数 :28名	
○中重度(要介護3~5)の月別延利用者数 :全体の35%以上	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体的取組み]
(1) 中重度利用者に応えられるデイサービスを目指す。 (中重度者へのケア力を上げる)	① 中重度者へのかかわりの時間を増やす ⇒業務内容を見直し、人員の配置について工夫する ⇒利用者に「できること」を見出し、自ら実施してもらい、それにより空いた時間をケアに充てる
	② 介護技術の向上を図る ⇒歩行支援・移乗介助の基礎を再度確認する ⇒スキルチェックシートを元に自己チェックを図る
	③ 疾患別ケア・認知症対応の理解を進める ⇒月1回の定例会議で「各テーマ毎」に全体で学ぶ機会を設ける

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) 生活リハビリプログラムの提供機会を増やし、日常生活の「できること」を増やす。</p>	<p>①屋外歩行プログラムを常態化していく ⇒歩行プログラムを作成する ⇒継続していくための仕組みを作る</p>
	<p>②個別利用者の取組みが誰にでもわかりやすいようにする ⇒既存の個別カードを刷新していく ⇒個別プログラムが利用者もスタッフも共有できる</p>
	<p>③生活リハビリのプログラムを創出していく ⇒空いた時間などを活用し、机上でも取り組める活動メニューを作っていく</p>
<p>(3) 利用者が主役となれるように「役割」を作っていく</p>	<p>①生活行為(入浴・洗濯・掃除・炊事など)の機能訓練プログラムを増やしていく(小グループ単位)</p>
	<p>②役割(人の役に立つ)を提供する仕組みを作る ⇒配膳準備・修繕など通常は職員が実施していることなどをご利用者が行うプログラムとして組み立てる</p>
	<p>③継続して取り組める仕組みを作っていく ⇒役割としての取り組みを評価していく仕組みづくり</p>

※生活リハビリ

トイレや着替え、入浴、食事等の日常生活動作そのものをリハビリとしてとらえ、機能訓練プログラムとして位置づけ、自立した生活を支援するという考え方。ずっと我が家デイサービスでは、これらの組み合わせを「役割」として意欲的に取り組む仕組みにすることを目指しています。

ずっと我が家 上溝本町ホームヘルプサービス(訪問介護)

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
その人の暮らしをその人らしく生活を送ることができ、「安心」・「希望」が実現できるチームとなっている。	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
その人を支えるために身体介護技術だけでなく、生活状態や状況を察する力を持ったレベルの高い専門職のチームとなっている。	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
人材を確保し、育成し、現在の事業を安定・成長させる。	
[提供する事業量の目標]	
○サービス提供責任者 1ヶ月の活動時間合計 100 時間	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(1)ご利用者の全体像を把握し、ケアに生かす力をつけるとともに、コミュニケーション能力を高める。</p> <p>※アセスメント</p> <p>心身の状態、生活環境、個人の考えや想いなどを多面的な視点で把握すること。このデータを専門職が共有することにより適切な支援の組み立てにつながる。</p>	<p>①記録システム(ブルーオーシャンシステム)を効率よく使用するために、共通用語の整理・検討をし、ご利用者の変化や観察したことがわかる記録が書ける。</p>
	<p>②現在の実際の記録をもとに書き方の検討・修正を毎月のヘルパー会議で行い、誰にでも伝わる記録が書けるようにする。</p>
	<p>③アセスメント表の見直し・分析を行い、チームでご利用者を深く理解する。</p>

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) 身体介護技術と認知症ケアの理解を高める。</p>	<p>①スキルチェックシートを用いて自己評価をし、身体介護技術・認知症ケア(理解)に対応できるよう定期的に研修をする。</p>
	<p>②法人内研修(特別養護老人ホームのケアを学ぶ)・同行研修を継続し、他セクションのケアを学ぶ。</p>
	<p>③福祉用具・福祉機器等、ご利用者の状態にあった提案ができるように学ぶ機会をつくる。(展示会等への参加)</p>
<p>(3) 世代交代を含めた人材の確保・育成を進める。</p>	<p>①業務内容を整理し、サービス利用を増やし身体生活+身体(%)を毎月 60%超えを維持する。</p>
	<p>②人材確保に向け、お仕事説明会・募集等 PR を行う。</p>
	<p>③キャンセル料の見直し(コストに見合った料金設定)を検討する。</p>

※(ホームヘルプステーションの)チェックシート:ホームヘルパーの具体的なスキル内容について自己チェックするためのシート。定期的に見直し、全体のスキルレベルを底上げするためのツールとして活用している。

グループホーム秋桜(認知症対応型共同生活介護)

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
住み慣れたところで、大往生できるグループホームづくり	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
認知症の方や、介護されているご家族にとってGH秋桜は、安心できる暮らしの場であること。	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
世代交代してもグループホーム秋桜の理念を理解し、実践が継続していること	
[提供する事業量の目標]	
○年間を通じて18名を維持する。	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
(1)利用者に活躍できる場がある暮らし	①良く食べる・排泄する・歩く・寝ることを基本としたケアと環境づくり
	②毎日、ご利用者主体となる生活活動を行う。目的を持ち活動量をアップする(出来ること、やりたいことシートの活用)
	③毎月の行事、外出を基本とした社会参加と社会との繋がりのある企画を提供する

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) 様々な行動・心理症状をスタッフが自分ごととして考え、創意工夫できるチームケアの向上とフォローアップ体制の強化</p> <p>※アセスメント 心身の状態、生活環境、個人の考えや想いなどを多面的な視点で把握すること。このデータを専門職が共有することにより適切な支援の組み立てにつながる。</p>	<p>① 認知症ケアと認知症についての内部研修と外部研修への参加の機会、ケースカンファレンスの実施。</p> <p>② 良く聴き、話す、触れて共感、受容する。寄り添い、症状の要因追及とチーム内の共有を行う。</p> <p>③ アセスメント(ひもときシートの活用等)と多様なアプローチ(Do=実践する)を繰り返し続け、理に適うケアを行う。</p>
<p>(3) 実践(Do する)職員集団の確立</p> <p>※スーパービジョン(supervision) 職員(スーパーバイザー)が施設長・管理者等の指導者(スーパーバイザー)から教育・指導を受けること。 この指導される、指導する過程を通じ、両者が成長しすることも目標の一つとなる。</p>	<p>① 行動目標 45 とキャリアマップを理解し取り組む。</p> <p>② OJT を基本とした育成体制の充実とスタッフ間の相談、スーパービジョンにより互いの成長とリーダーシップ発揮</p> <p>③ 「いいね！」を増やし、スタッフのモチベーションとチームのモラルの向上。現場の主体性を生む環境作り。</p>

※ひもときシート

認知症ケアのためのツールの一つ。認知症の方を援助する際に援助者の思いこみや試行錯誤で迷路に迷い込んでいる状況から脱するために、援助者中心になりがちな思考を本人中心の思考(すなわち本人の気持ちにそった対応)に転換し、課題解決に導くために、段階的に検討することを補助する。

デイサービス秋桜(認知症対応型通所介護)

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
認知症の方や, 介護されている方にとって安心して利用できるデイサービス秋桜。	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
(認知症であるご利用者本人が) 明日も明後日も毎日行きたくなるデイサービス秋桜。	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
秋桜理念の実践でデイサービス秋桜でこそできる認知症ケアの確立	
[提供する事業量の目標]	
○10名/1日	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
(1)利用者が活躍できる居場所作り ※アセスメント 心身の状態、生活環境、個人の考えや想いなどを多面的な視点で把握すること。このデータを専門職が共有することにより適切な支援の組み立てにつながる。	①出来ること、やりたいことシートの活用で、できることに視点をあてたケアの確立
	②歩きたい気持ちを大切にし、歩行能力が維持できる環境整備とケアの確立
	③自由に動きたい時、動きたい場所(外も)に行ける環境整備とケアの確立

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2)ご利用者の安心できる居場所づくり とご家族の不安や苦労の軽減</p>	<p>①利用者の心理行動症状を利用者のSOSと捉え、原因を探り、否定せず寄り添うケアの確立(ひもときシートの活用やケースカンファレンスの実施)</p>
	<p>②ご家族の交流会の開催 在宅介護の苦労や不安を把握し、ご家族の要望にできるだけ応えていく。</p>
	<p>③デイサービス秋桜を利用することによって在宅で、夜間よく眠れることを目指す</p>
<p>(3)実践(Doする)職員集団の確立</p>	<p>①秋桜理念、秋桜職員として必要な知識技術を習得していく(行動目標45、OJT、マニュアル作り、研修等)</p>
	<p>②認知症ケアと認知症について研修の機会をつくり、実践(Do)に活かしていく。</p>
	<p>③「いいね！」を増やし、スタッフのモチベーションとチーム力の向上。</p>

※行動目標 45

上溝緑寿会全職員が目標とすべき具体的な行動について45項目として2017年に取りまとめたもの。2019年(令和元年度)には、「行動目標45」をもとに「あしたのひとづくりプロジェクト」により、階層別の行動目標を整理した「キャリアマップI」が制定された。

星が丘デイサービスセンター(通所介護)

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
中重度のご利用者が「笑顔になる」、「行く気になる」、「目的を持てる」、「自由になれる」、「気持ち良くなる」デイサービスとなる。	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
職員全体の知識技術レベルが向上し、認知症の方が快適過ごせるデイサービスとなっている。	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
チームケアの力が向上し、利用者自身が居場所や役割を実感でき過ごすことができる。	
[提供する事業量の目標]	
○年間で1日平均 22.5 名(稼働率 90%)	
○中重度(要介護3~5)の実利用者割合 :全体の40%以上	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
(1)認知症ケアプログラム 利用者自身が『やりたい、できる』の気持ちになってもらう。	①ライフストーリーを作成し、やりたい事、得意な事、自宅で行っていること把握し、生活活動プログラムの作成を行う。
	②各勤務帯の役割を見直し、利用者同士で取り組める時間や職員と共に取り組める時間を作る。
	③日々のミーティングの場で取組みに対しての評価や様子の共有を行い記録への記載を行いプログラム内容の変更を検討する。

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) チーム力強化(多職種連携)</p> <p>職員個々の介護技術が向上に加え、チーム全体での総合力高め、様々なニーズに対応できる。</p>	<p>① 個々の総合力強化</p> <p>認知症、身体介助をテーマとして外部研修への参加</p> <p>デイ会議内での利用者への介助方法の見直しを行う</p>
	<p>② 統一ケアの確立</p> <p>日々のミーティングやデイ会議でのケア統一についてのカンファレンスの実施</p>
	<p>③ 職員の役割を見直し、各日におけるリーダーシップを取る職員を明確にする。</p>
<p>(3) 地域交流</p> <p>認知症になっても地域での生活が継続できている。</p>	<p>① 地域の方がデイサービススペースで活動参加ができる</p> <p>(参加案内ポスターや地域の方が過ごすことができるスペースを確保する。)</p>
	<p>② 高齢者支援センターとの連携</p> <p>地域掲示板等へデイサービスイベントのポスター掲示行う。</p>

星が丘高齢者支援センター(地域包括支援センター)

1. 将来に向けたビジョン(令和5[2023]年4月)	
<p>今まで大切にしてきた、新規即日対応や一つひとつの相談に丁寧に対応していく。 地域住民、地域、事業所のニーズや期待に応えることで信頼してもらえる事業所を目指す</p>	
2. 令和3年3月のビジョン(到達イメージ)	
<p>職員それぞれの専門性や強みを活かし、チームの力を最大限に発揮して業務ができる</p>	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
<p>「みんなで考え、みんなで学び、みんなで成長」 職員全員で話し合いや意見交換、一緒に考える時間を持つ</p> <p>[提供する事業量の目標] ○相模原市委託契約の業務仕様書に準拠</p>	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(1)法人職員として、センター職員としての基本姿勢の理解ができ、長く勤めることができる(3年辞めない人づくり)人材の育成</p> <p>※バディ制度 新人職員が一人前になるまでともに歩む先輩職員を指定する制度。期間は概ね1年間が目安</p>	①新人職員のバディー制度の実施
	②毎月の勉強会等(ケースの共有、事例検討も含む)の実施 定期的に知識や技術の共有や学びの機会を持つことでセンター職員としての質の向上を図る
	③「なぜ」「どうして」をみんなで検討し理解をする。共有をする 職員間で疑問に思ったことや自分の意見を出し合える環境。開かれた対話ができる。

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) 地区の特性や今までの取り組みについて理解をし、みんなで考え、意見を出し合い、地域課題や今後の目指すべき姿を共有できる。</p>	<p>①グループ支援の団体の整理とコーディネーターとの情報共有</p> <p>生活支援コーディネーターと共にグループ支援の対象を明確にし、計画的にアプローチをする</p>
	<p>②コネクションマップの作成</p> <p>職員個人のネットワークではなく、センター全体の人的ネットワークとして構築と共有をする</p>
	<p>③毎月のセンター内ミーティングとコーディネーターを交えたミーティングの実施</p> <p>職員全員で情報やニーズの共有を行い課題を抽出し、センターの方向性を示す</p>

※コネクションマップ

個々の職員のさまざまな人的なつながりを、職員全員で共有し、センターの「つながり資産」として大切に継承していく仕組みをつくる。

※高齢者支援センター(地域包括支援センター)は、相模原市の委託事業として、委託契約で、事業目標や評価基準等が定められています。法人のセクションとしての事業計画は、それぞれのセンターの状況に置ける人材育成やチーム作りなど「組織づくり」を中心とした計画となっています。

上溝高齢者支援センター(地域包括支援センター)

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
地域住民全体で高齢者を支え合う仕組みづくりができる <ul style="list-style-type: none"> ・認知症のある方及びその家族 ・孤独死を減じる ・住民による介護予防の実施 	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
世代交代等による新採用の職員定着し、各職員が専門性を発揮し取り組む体制ができている。	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
相談援助職人材を確保し育成する体制を、他の相談援助部門と協力し作り上げる。 定年等による職員の入れ替わりに対応するため、各職員のもっている人的ネットワークなどの資源を継承する取組を行う。 [提供する事業量の目標] ○相模原市委託契約の業務仕様書に準拠	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
(1) 人材の確保と育成	①法人全体及び他の相談援助部門と連携し、相談援助職人材を確保する。 特に、職員個人の人的ネットワークを利用した「リファラル採用」に力を入れる。
	②相談援助職の人材育成に、「人材育成の基本方針」により相談援助部門とともに取り組む。
	③上溝及び星が丘高齢者支援センターの連携 支援センターの委託事業の取組み等についてノウハウを共有するなど連携する。

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
(2)コネクションマップの作成 (職員全員のもつ人的ネットワークの整理・共有)	①人的資源の整理 各職員がもつ、人的ネットワークの資源を他の職員が共有できるように整理し、まとめる。
	②役割分担の重ね合わせ 人材を確保すると同時に各職員の役割分担体制を複数担当制にし、職員の引き継ぎ等がスムーズに進む体制をつくる。
	③地域人的資源情報の整理 地域のコミュニティの関係づくりに活かせる人的なネットワーク、資源の情報を、コミュニティソーシャルワーカーと連携して整理・共有する。

※高齢者支援センター(地域包括支援センター)は、相模原市の委託事業として、委託契約で、事業目標や評価基準等が定められています。法人のセクションとしての事業計画は、それぞれのセンターの状況に置ける人材育成やチーム作りなど「組織づくり」を中心とした計画となっています。

居宅介護支援事業

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
総合福祉施設の利点を有効に活用しながら、専門職的知識を生かして、ご本人・ご家族と共に悩み、共に考え、歩んでいく。	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
地域(上溝地区・星が丘地区)の地域資源の情報(インフォーマルな資源も含め)を把握・共有し、援助に活かしている。	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
専門職として、より良い支援をするために、法人内外の事業所との関係を築く。	
[提供する事業量の目標]	
○介護支援専門員 1 人あたりの担当件数 37 件/月	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
(1)セクション内で利用者・家族の情報を共有するとともに、担当者が課題等を抱え込まない状況をつくる。	①定例会議(毎週)の場で、担当の介護支援専門員(ケアマネージャー)の報告に対し、共感・共有し、職員全員で受け止め、課題解決の方向を考え、意見表明する。
	②各職員の研修のあとの報告の場では、職員全員で内容を深め共有する。

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2)収益を上げる。</p>	<p>①新規相談を積極的に受ける</p> <p>新規の相談は断らない。相談を積極的に受け、件数目標達成に向け、職員全員で取り組む。</p>
	<p>②個人のネットワークを広げる。</p> <p>他の相談機関、事業所への個々の職員のネットワークを広げる。</p>
	<p>③人材確保と育成</p> <p>法人内の他の相談援助部門と連携して、人材確保・育成に取り組む。</p> <p>法人理念の実現に向けて、相談援助部門としての役割を意識し、実践と育成を行う。</p>

コスモスホーム(特別養護老人ホーム・併設短期入所)

1. 将来に向けたビジョン(令和5[2023]年4月)	
<p>・ご利用者が自分らしく毎日を過ごし、人生の最後まで愛着を感じて暮らせる家。またご家族や地域に住む方々の安心も支えられる拠点となる。</p>	
2. 令和3年3月のビジョン(到達イメージ)	
<p>・ご利用者が主役の生活を支えるため、職員の理念実践とチームワークが確立し、施設環境が居心地の良い暮らしの場となっている状態。</p>	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
<p>・ご利用者が主役の生活を支えるため、職員1人1人が役割と責任を理解し、チームの一員として活躍する。</p> <p>[提供する事業量の目標]</p> <p>○(全体) 平均利用人員数 70人 平均稼働率 100%</p> <p>○(特養) 平均入所人員数 53.5人</p> <p>○(ショート) 平均利用人員数 16.5人 平均稼働率 103.1%</p>	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
(1)職員1人1人のクオリティ、キャリアを高める。	①各職員がキャリアマップⅡ「専門性」で自身を見直し、知識や技術のレベルアップに取り組む。(定期・随時面接などで課題、取り組みを話し合う。)
	②各職員が1回以上、興味ある外部研修に参加する。参加した職員は職場で情報共有の機会を設ける。(毎月に変更するフロア会議などを利用する。)
	③職員個々の日頃の疑問や希望に応じて、小規模勉強会を随時、必要に合わせて開催する。(看取りや感染症、認知症など関心の高いテーマは年間計画で開催する。)

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) 目標や問題に連携して対応できるチームを作る。</p>	<p>①各職員がキャリアマップ I「組織性」で自身を見直し、チームの一員として、役割や責任を果たす。(定期・随時面接などで課題、取組みを話し合う。)</p>
	<p>②「報・連・相」「配慮し合う双方通行の対話」などコミュニケーションや接遇力を高め、ご利用者・ご家族・職員間の気持ちや考え、情報を共有する。</p>
	<p>③職種間の異なる立場や意見に配慮し、チーム間の連携を守り、稼働率など目標や計画、問題に取り組む。(職種間の意見交換、業務理解の機会を設ける。)</p>
<p>(3) 暮らしやすく、働きやすいコスモスホーム作り。</p>	<p>①畳コーナーを趣味や交流等にくつろげる部屋に整備する。また、フロアの装飾など心地良い雰囲気や安全な環境作り、日々の楽しみに繋がる取組みを充実させる。</p>
	<p>②記録システム(ブルーオーシャンシステム)の運用の幅を全範囲に広げ、どの職員でも直ぐに情報を把握できるように効率化を進める。(PC 内データの整理・共有も進める。)</p>
	<p>③施設の既存介護用品の点検・整備体制を作る。また新しい介護用品や介護ロボットの情報を収集し、ご利用者と職員が安心して暮らし、働ける設備を整える。</p>

※介護ロボット

いわゆる「ロボット」だけではなく、睡眠の状況を把握するセンサー付きのベッドなど、ICT(情報通信技術)を活用した介護機器の総称。コスモスホームでは補助金を利用し、センサー付きベッドを順次導入している。

コスモスハウス(経費老人ホーム[ケアハウス])

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
コスモスハウスに入居できてよかったと家族も本人も思える場所(自宅)になっている。	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
法人の居宅サービスを利用しながら、住み慣れたハウスでできるだけ長く生活できるように法人全体で安心を提供していく	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
日々の生活を前向きに不安なく送るために、やる気を引き出し出来ることを増やしていく職員になる	
[提供する事業量の目標]	
○入居者32名満室を目指す	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
(1)入居者の発するサインを見逃さず、職員それぞれが問題を解決する力をつける	①共通の用語を決め誰が読んでもわかりやすい記録が書けるようにする
	②記録システムを利用し入居者の変化や心の動きを把握し職員間で共有する
	③各種委員会などの講義内容を担当で行い、伝える力や観察する力を身に着ける。

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) 入居者それぞれが主役になれる機会を作る</p>	<p>① 日々の生活の中や家族から聞き取った困りごとや希望について専用のノートを作り記録、職員間で共有する</p>
	<p>② どの場面で主役になれるかを計画(5W1H)実行する</p>
<p>(3) 家族や関係機関との連携を密にする</p>	<p>① 家族・関係機関に行事の日程などを伝え、来訪目的を提案する</p>
	<p>② 入居者の様子を伝えるためにハウスだよりを家族以外の関係機関にも送付する</p>

栄養調理部門

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
「地域No.1 は上溝緑寿会の食事」を目指す	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
ご利用者やご家族、コスモスで働く職員も 満足する食事の提供	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
緑寿会の栄養・調理部門の人材育成 緑寿会の栄養・調理部門の業務の統一化・標準化 昨年度は 我が家へのケータリング対応による人員不足のため、事業計画に取り組み ていない項目がありました。 そのため、今年度は 昨年取り組みなかった項目を確実なものにしていきたい。	
4. 取り組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取り組み]
(1)ご利用者の状態に合わせた適切な 食事の提供	①施設ケアプランをもとに栄養ケアマネジ メントを実施し、栄養状態・健康状態・食環 境が良好に維持されるように支援する。
	②他職種との情報の共有・連絡・厨房内へ の伝達を円滑に行い、利用者の状態に合 わせた適切な食事の提供を行う。
	③味覚・視覚・サービス・栄養面などさまざ まな視点から、ご利用者に満足していただ ける食事の提供を目指す。

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) 人材育成及び作業効率の向上を行い、ご利用者へ還元できる仕組みを作る</p>	<p>①常勤職員・非常勤職員ともに階層に適したタイムシフトを作成する。</p>
	<p>②職員のスキルアップを図り、個々の能力のばらつきをなくし、安心・安全・安定した食事の提供を維持する。</p>
	<p>③ご利用者のニーズを踏まえて、作業の効率化に取り組む。 外部研修へ参加して、最新の情報を吸収し、業務に生かす。</p>
<p>(3) 収益のアップへの向けて取り組む。</p>	<p>①新しい取引先と価格の比較を行い、質の良い食材を安価で仕入れる。</p>
	<p>②経口維持加算(Ⅰ)または(Ⅱ)の取得を継続する</p>
	<p>③療養食を実施し、療養食加算の取得を継続する。</p>

総務部門

1. 将来に向けたビジョン(令和 5[2023]年 4 月)	
<p>人員・収支ともに安定した運営を行い、平常時も災害時も地域の福祉拠点となる体制を作る。</p>	
2. 令和 3 年 3 月のビジョン(到達イメージ)	
<p>ご利用者様や地域の方に信頼される施設運営を行うために、いつでも各セッションが必要とするバックアップが出来る体制を作る</p> <p>大規模災害時には地域の災害福祉拠点として機能する体制を作る</p>	
3. 重点目標(大項目) [課題を解決しビジョンを実現するために]	
<ul style="list-style-type: none"> ・正確な事務処理と情報共有を行う ・施設および設備の老朽化対策を計画的に進める ・会計処理の効率化を図る 	
4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(1) 事務体制の見直しと人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室業務の見直し ・規程類の整備 ・人員確保に向けた取組み 	<p>①事務室職員の体制(人員補充)および業務内容見直し</p>
	<p>②有給休暇取得および残業時間の管理、定年延長の見直し、同一労働同一賃金性への対応などを実施する。</p>
	<p>③新卒・中途採用の獲得に向けた取組み(地方から就職できるような支援方法検討)</p>

4. 取組み項目(中項目)	5. 行動内容(小項目)[具体の取組み]
<p>(2) 設備の計画的な改修・更新と災害・防犯対策、感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設および設備の更新 ・災害対策強化 ・防犯対策強化 ・感染症対策強化 	<p>①設備等の計画的な改修・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上部分の防水改修工事 ・自動火災報知設備の改修工事
	<p>②大規模災害に向けたマニュアル整備と備蓄品の補充</p> <p>防犯マニュアルの整備と防犯訓練の実施。</p>
	<p>③感染症対策強化</p> <p>感染症対策に必要な物資類の備蓄強化と職員への速やかかつ的確な情報提供</p>
<p>(3) 管理会計体制の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計処理業務の見直し ・収支状況の速やかな情報提供 	<p>①会計処理手順の効率化を目指して外部委託業者(辻・本郷)と検討調整</p>
	<p>②セクション毎の収支状況をより正確に情報提供する</p>